

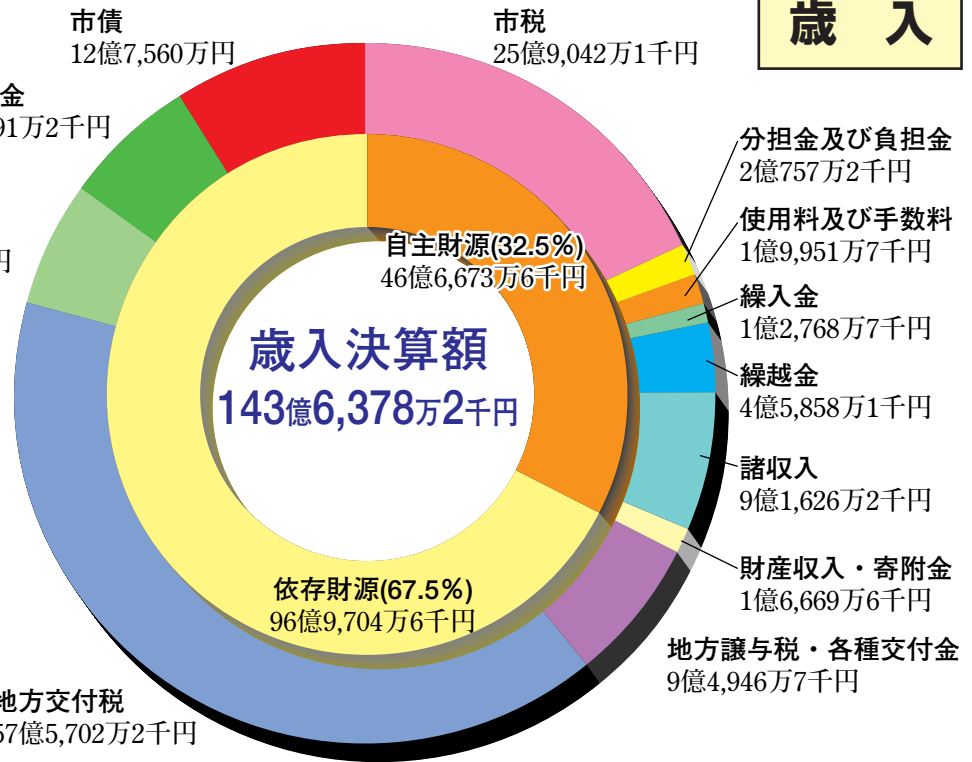
平成18年度決算報告

皆さんが納めた税金や国・県からの補助金、借りたお金が、昨年度、阿蘇市のまちづくりにどのように使われたのか、平成18年度阿蘇市一般会計及び特別会計・企業会計の決算をお知らせします。

「決算」とは、予算に基づいて執行された結果をいいます。会計年度(4月1日から3月31日)が終わると決算処理を行い、監査委員の審査を受け、市議会の承認を得ます。

平成18年度決算は9月定例議会で承認を得ました。

歳入



●自主財源

市税や負担金などで、市が自主的に収入しているものです。

●依存財源

地方交付税や国・県支出金及び市債などで、市が自主的に収入を確保できないものです。

主な歳入



【市税】

市民税・固定資産税・軽自動車税など市民の皆さんに納めていただいたお金です。

【地方交付税】

全国どこの市町村に住む人も一定水準の行政サービスが受けられるよう、地方公共団体間の不均衡を調整し、保障するために国から交付されるお金です。

阿蘇市の歳入においても最も大きな割合を占めており、市税と並び、貴重な財源の一つとなっていますが、国の三位一体の改革の影響を受け、交付額は年々減少しています。

【国・県支出金】

特定の事業を行うために、国・県から交付される負担金・補助金などのお金です。

【市債】

特定の事業を行うために国などから借り入れたお金です。借金ですので後年度にわたり返済していくことになります。

主な歳出

【総務費】

市庁舎・財産の維持管理や戸籍・徴税・選挙・監査など市の総合的な事務に使ったお金です。決算額は17億4,483万4千円で、主な事業としては地方バス路線維持補助金事業、市議会議員選挙、交通安全施設整備事業などを行いました。

【民生費】

子ども、高齢者、障害者の方などの福祉の充実に使ったお金です。決算額は36億3,672万8千円となっています。主な事業として、保育園の運営、高齢者・身体障害者福祉事業、老人ホームの運営、児童・育児手当等扶助事業などを行いました。

【衛生費】

市民の皆さんの健康管理や生活環境の維持に使ったお金です。決算額は、13億3,405万9千円で、主な事業として、生活習慣病予防のための各種検診やごみの収集業務、合併処理浄化槽の整備補助などを行いました。

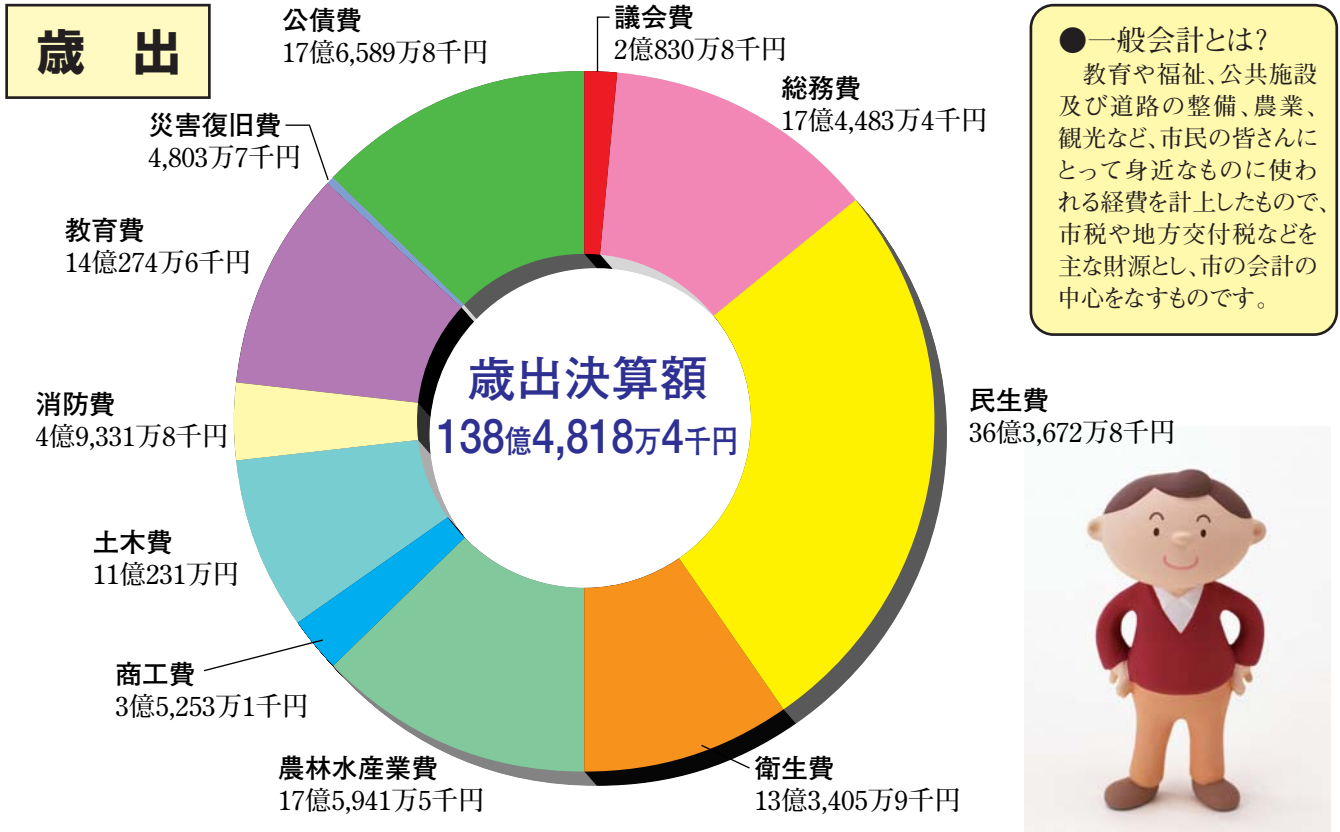
なお、阿蘇広域行政事務組合負担金(RDF)・尿処理施設等7億1,533万2千円(阿蘇市負担分)もここに含まれています。

平成18年度一般会計の決算額は

歳入総額 143億6,378万2千円 (対前年比0.2%増)

歳出総額 138億4,818万4千円 (対前年比0.2%減)

歳入歳出の差引額は5億1,559万8千円



【農林水産業費】

農林業の振興や農村環境整備に使ったお金です。決算額は17億5,941万5千円で、主な事業として、バイオマスエネルギー実証実験事業、林道整備事業、ふるさと農道緊急基盤整備事業、中山間地域等直接支払事業などを行いました。

【商工費】

商工業の振興や観光振興に使ったお金です。決算額は3億5,253万1千円で、観光案内板整備事業や商店街活性化事業、各種観光イベントの開催、観光客誘致事業などを行いました。

【土木費】

道路・河川の整備や市営住宅の管理など生活環境の整備に使ったお金です。決算額は、11億2,311万円で、主な事業として、阿蘇市幹線道路整備事業、市道の新設・改良・維持補修や阿蘇駅周辺再開発事業、市営住宅の管理事業などを行いました。

【消防費】

消防や防災無線・消防施設の整備など防災活動に使ったお金です。決算額は4億9,331万8千円で、主な事業として、消火栓や防火水槽などの消火活動のための施設整備、阿蘇火山防災

活動などの事業を行いました。なお、阿蘇広域行政事務組合負担金(消防費)3億9,576万5千円(阿蘇市負担分)もここに含まれています。

【教育費】

教育委員会、小中学校、社会教育などに使ったお金です。決算額は14億2,746千円で、波野中学校改築事業、市内の各小中学校の施設整備事業をはじめ、市内に存在する文化財の保護なども行っています。また、各種スポーツ大会への助成事業なども行いました。

【公債費】

市の借金を返済するために使ったお金です。決算額は17億6,589万8千円となっています。なお、この返済金の一部は普通交付税という形で阿蘇市に戻ってきます。

【その他】

その他は、市議会の運営費、災害復旧費などに使ったお金です。決算額は、それぞれ議会費が2億8,300万8千円、災害復旧費が4,803万7千円となっています。なお、特別会計・企業会計等への繰出金は各歳出目的に含まれています。

特別会計

市が特定の事業を行うときに、経理状況を明確にするため一般会計と区分した会計を特別会計とします。

●坂梨財産区特別会計

歳入額	1,028万5千円
歳出額	568万7千円
歳入歳出差引額	459万8千円

※財産区内の簡易水道等の管理事業

●古城財産区特別会計

歳入額	2,087万9千円
歳出額	1,322万3千円
歳入歳出差引額	765万6千円

※財産区内の簡易水道等の管理事業

●中通財産区特別会計

歳入額	1,805万8千円
歳出額	1,027万1千円
歳入歳出差引額	778万7千円

※財産区内の簡易水道等の管理事業

●宮地財産区特別会計

歳入額	3万1千円
歳出額	9千円
歳入歳出差引額	2万2千円

※財産区管理事業

●古城・中通地区簡易水道事業特別会計

歳入額	348万1千円
歳出額	321万円
歳入歳出差引額	27万1千円

※簡易水道整備借入金の償還事業

●診療所特別会計

歳入額	1億1,368万8千円
歳出額	1億1,319万1千円
歳入歳出差引額	49万7千円

※へき地診療所として設置されている診療所の運営事業

●阿蘇山観光事業特別会計

歳入額	2億105万5千円
歳出額	1億1,604万2千円
歳入歳出差引額	8,501万3千円

※阿蘇山周辺の観光利用促進を目的に阿蘇山公園道路やユースホステルの運営などを行う事業

●下水道事業特別会計

歳入額	9億3,899万5千円
歳出額	9億679万6千円
歳入歳出差引額	3,219万9千円

※公共下水道の整備や促進を図る事業

●国民健康保険事業特別会計

歳入額	39億9,209万9千円
歳出額	37億833万9千円
歳入歳出差引額	2億8,376万円

※国民健康保険加入者の医療費などを運営する事業

●老人保健事業特別会計

歳入額	48億2,140万9千円
歳出額	48億2,139万4千円
歳入歳出差引額	1万5千円

※75歳以上の高齢者の医療費を運営する事業

●介護保険事業特別会計

歳入額	22億5,550万円
歳出額	20億79万6千円
歳入歳出差引額	2億5,470万4千円

※介護サービス給付事業



企業会計

企業会計には、収益的収支と資本的収支がありますが、今回は、収益的収支のみ掲載しました。

●水道事業会計

収益的収入額 (水道料金等)	4億8,462万1千円
収益的支出額 (運営費、維持管理等)	4億4,482万6千円
収益的収支	3,979万5千円

当年度純利益 3,979万5千円

●阿蘇中央病院事業会計

収益的収入額 (医療収入等)	12億1,753万6千円
収益的支出額 (運営費、医療費用等)	13億232万2千円
収益的収支	△8,478万6千円

当年度純損失 8,478万6千円

※当年度純損失8,478万6千円については、病院建設改良積立金で補填し、累積赤字はありません。